

いまこそ求められる 「複言語・複文化」の理念

「複言語・複文化」の理念は、複数の言語と文化を理解し、尊重する考えであり、個人の能力を高めることと尊重する社会を支える重要な考えで、異なる言語・文化を持つ人々の目的に応じて多岐にわたる。多様性を尊重し、深めるための基盤で言語・複文化能力を高める文化・価値観を持つ人々が共存する社会において必要不可欠である。本学国際学部は「複言語・複文化」の理念の言語・複文化教育、学際的推進し、実践してきた。本シンポジウムは、これまで「複言語・複文化」となり国際学部を牽引してきた講師に化についてそれぞれの経験と専門的重要性について語っていただく。

語と文化を理解し、尊重するとはもちろん、多様性がある。コロナ禍を経た交流の形態は変わってきた。

相互理解を

ある複

は異

を持

社会

であ

「複言

もと、複

的学びを

ンポジウム

教育の中心

「複言語・複文化」の視点からその重



13:00-15:20 第一部 講演

- 趣旨説明：国際学部が目指した「複言語・複文化」教育 野村 昌司 (中京大学)
- 言語教育≠母語教育+外国語教育——日本型複言語・複文化教育の提案 大津 由紀雄 (慶應義塾大学名誉教授)
- 「複言語・複文化」の理念において言語学が果たす役割 大滝 宏一 (中京大学准教授)
- 「複言語・複文化」的英語教員養成課程の実践——歩みと実り 亘理 陽一 (中京大学教授)
- ポピュリズムと文化搾取——複言語・複文化主義の欠如がもたらすもの 亀田 真澄 (名古屋大学准教授)
- AI時代の英語教育の課題と展望——英語教育+Chat GPT+複言語・複文化主義 鈴木 希明 (中京大学准教授)
- 複言語・複文化教育が導く未来世界——生成AIと異文化コミュニケーション 鳥飼 玖美子 (立教大学名誉教授)

15:30-17:00 第二部 討論・質疑応答

2025.12.6 sat

【場所】中京大学 名古屋キャンパス4号館 412 教室
〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区八事本町101-2

【時間】13:00-17:00 (開場12:30)

【申込】<https://forms.gle/LZzxqHJsduAUyoD6>

【問合せ】中京大学・野村 昌司 nomura@lets.chukyo-u.ac.jp

